

伊賀市地域公共交通計画の変更について

1. 概要

- ①地域間幹線の「上野山添線」が令和6年4月1日から廃線となっており、令和6年10月1日から、廃止代替バス「諏訪・予野線」の終点「治田西口」を「金坪」へ変更する予定です。なお、令和6年11月1日からは、廃止代替バス「西山・島ヶ原線」の終点「中矢」を「やぶっちゃランド」へ変更し、島ヶ原ぐるり号の終点「小田町内」を「上野市駅」に変更する予定です。このことから、伊賀市地域公共交通計画への記載内容の変更を行います。
- ②廃止代替バス「西山・島ヶ原線」については、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助を受けるため、地域公共交通計画別紙を作成し国へ申請を行っています。ついては、計画別紙の一部を変更し、国へ変更届出書の提出を行います。

2. 交通計画内容の変更

- (1)「4-4 地域公共交通の機能分類とサービス水準の設定」の(1)中の「上野山添線」を削除します。 → P. 2
- (2)表7：地域公共交通の機能分類と路線維持の基本的な考え方の公共交通軸（基幹バス）の表中の「上野山添線」を削除します。 → P. 3
- (3)新たな項目「(2) 生活交通確保維持改善計画に基づいたバス路線について」の「上野山添線」を削除し、「西山・島ヶ原線」を「やぶっちゃランド」までに変更し、「諏訪・予野線」を「金坪」までに変更する。 → P. 4
- (4)「市内バス路線一覧」の【営業路線バス】の「上野山添線」を削除し、【廃止代替バス】の「諏訪・予野線」の終点を「治田西口」から「金坪」に変更し、「西山・島ヶ原線」の経由地を「西山・やぶっちゃランド」から「西山」に、終点を「中矢」から「やぶっちゃランド」に変更する。 → P. 5
- なお、【島ヶ原行政サービス巡回車】の「山菅・不見上線」の経由地「学校」を削除し、「デマンド型巡回車」の終点を「小田町内」から「上野市駅」に変更する。 → P. 6
- (5)「地域公共交通確保維持事業の必要性」の表中の「上野山添線」の欄を削除する。 → P. 7

3. 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助に係る計画内容の変更

表1・表5・計画書別紙の一部を変更 → P. 8～32

4. 変更年月日

令和6年11月1日

4-4 地域公共交通の機能分類とサービス水準の設定

(1) 地域公共交通の位置づけと機能分類・サービス水準の設定

○伊賀市内の鉄道は、大阪～名古屋間を結ぶ広域的な公共交通の軸として北部をJR関西本線、南部を近鉄大阪線、京都方面へJR草津線が機能しています。また、JR関西本線と近鉄大阪線を結ぶ形で伊賀鉄道が市の中央部を南北に縦断しており、伊賀市の広域交通体系の骨格を形成しながら、市民や来訪者の広域的な都市間の移動需要に対応しています。そのため、これら鉄道を『公共交通軸（鉄道）』と位置づけます。

○名古屋上野高速等の高速バスは、市内を東西に貫く名阪国道を軸に、関西方面、名古屋・関東方面を結んでいます。鉄道と同様に、市民や来訪者の広域的な都市間の移動需要に対応していることから、高速バスを『公共交通軸（高速バス）』と位置づけます。

○路線バス上野名張線、廃止代替バス月瀬線は、隣接市町村とのアクセスに重要な役割を果たしていることから、これら市域を跨ぐバス路線を『公共交通軸（基幹バス）』と位置づけます。

○営業路線バス阿波線、玉滝線、桐が丘線及び月瀬線以外の廃止代替バスは、公共交通軸と一体となつて医療機関、公共施設などの拠点施設へのアクセス機能を有する生活交通軸として機能していることから、これらバス路線を『準基幹バス』と位置づけます。

それらの路線のうち、特に西山・島ヶ原線及び友生線については、基幹バスや鉄道路線に接続する「フイーダー系統」として、国の補助制度である地域公共交通確保維持事業を活用しながら運行します。

○その他行政バス等は、各地域の生活圏内の移動を支え、地域の拠点である各支所や公共交通軸（鉄道、基幹バス）及び準基幹バスへのアクセス手段として機能しています。また、タクシーは地域の多様な移動ニーズに対応する面的な交通手段として機能しています。これら行政バス等やタクシーを『地域生活交通』と位置づけます。

4-4 地域公共交通の機能分類とサービス水準の設定

(1) 地域公共交通の位置づけと機能分類・サービス水準の設定

○伊賀市内の鉄道は、大阪～名古屋間を結ぶ広域的な公共交通の軸として北部をJR関西本線、南部を近鉄大阪線、京都方面へJR草津線が機能しています。また、JR関西本線と近鉄大阪線を結ぶ形で伊賀鉄道が市の中央部を南北に縦断しており、伊賀市の広域交通体系の骨格を形成しながら、市民や来訪者の広域的な都市間の移動需要に対応しています。そのため、これら鉄道を『公共交通軸（鉄道）』と位置づけます。

○名古屋上野高速等の高速バスは、市内を東西に貫く名阪国道を軸に、関西方面、名古屋・関東方面を結んでいます。鉄道と同様に、市民や来訪者の広域的な都市間の移動需要に対応していることから、高速バスを『公共交通軸（高速バス）』と位置づけます。

○路線バス上野名張線、上野山添線、廃止代替バス月瀬線は、隣接市町村とのアクセスに重要な役割を果たしていることから、これら市域を跨ぐバス路線を『公共交通軸（基幹バス）』と位置づけます。

○営業路線バス阿波線、玉滝線、桐が丘線及び月瀬線以外の廃止代替バスは、公共交通軸と一体となつて医療機関、公共施設などの拠点施設へのアクセス機能を有する生活交通軸として機能していることから、これらバス路線を『準基幹バス』と位置づけます。

それらの路線のうち、特に西山・島ヶ原線及び友生線については、基幹バスや鉄道路線に接続する「フイーダー系統」として、国の補助制度である地域公共交通確保維持事業を活用しながら運行します。

○その他行政バス等は、各地域の生活圏内の移動を支え、地域の拠点である各支所や公共交通軸（鉄道、基幹バス）及び準基幹バスへのアクセス手段として機能しています。また、タクシーは地域の多様な移動ニーズに対応する面的な交通手段として機能しています。これら行政バス等やタクシーを『地域生活交通』と位置づけます。

▼表7：地域公共交通の機能分類と路線維持の基本的な考え方

機能分類	路線機能	サービス確保の基本的な考え方	該当する 現行路線
公共交通軸 (鉄道)	都市間交通需要に対応する 広域的な公共交通軸であり、 通勤・通学や買物、通院、観 光など様々な利用目的に対 応し伊賀市の都市構造の骨 格を形成する公共交通軸と して機能します。	・都市間を連絡する広域交通需要に応じ た、高いサービス水準を確保します。 ・伊賀市の都市構造を誘導・形成する公 共交通軸であり、鉄道相互及びバス 等、他の交通機関と一体的に機能しう るサービス水準を確保します。	近鉄大阪線 JR関西本線 JR草津線 伊賀鉄道 高速バス (名古屋上野高速 線、伊賀大阪高速 線、高速伊賀大宮 線)
公共交通軸 (高速バス)		・伊賀市の骨格を形成する放射路線であ り、鉄道と一体となった公共交通軸を 図るため一定のサービス水準を確保 します。 ・通勤・通学及び帰宅時間帯を中心に乗 客集中に対応できるサービス水準を 確保します。 ・鉄道と一体となり都市間連絡需要に対 応するため、鉄道との乗り継ぎ利便性 の確保に留意したダイヤ設定としま す。	営業路線バス (上野名張線) 廃止代替バス (月瀬線)
公共交通軸 (基幹バス)	中心市街地と隣接都市等を 連絡する都市間需要に対応 する路線として、鉄道ととも に伊賀市の公共交通軸とし て機能します。 伊賀市の都市構造の骨格を 形成する公共交通軸として 機能します。		
準基幹バス	基幹バスを補完し、市内各地 域の移動を支える路線とし て機能します。 中心市街地と地域の生活拠 点(支所、医療施設、商業施 設等)や公共交通軸(鉄道、 基幹バス)へアクセスしま す。	・基幹バスを補完する伊賀市の放射路線 であり、中心市街地と地域の生活拠点 (支所、医療施設、商業施設等)、鉄道 駅、基幹バスへのアクセス利便性の確 保に留意したルート及びダイヤ設定 とします。 ・公共交通軸との乗り継ぎ利便性の確保 に留意したダイヤ設定とします。	営業路線バス (阿波線、玉滝線、 桐が丘線) 廃止代替バス (諏訪・茅野線、西 山・島ヶ原線 ^{※1} 、拓植 線、友生線 ^{※1})
地域生活 交通	地域の生活拠点(支所、最寄 鉄道駅、医療施設、商業施設 等)や基幹バス及び準基幹バ スへアクセスし、生活のあら ゆる需要に対応します。	・各地域の実情に応じ、必要なサービ ス水準の維持を図ります。 ・公共交通軸(鉄道、基幹バス)や準基 幹バスの発着時刻との乗り継ぎ利便 性の確保に留意したダイヤ設定とし ます。 ・路線の維持に向け、地域が主体的に取 り組むことで、デマンド運行など地域 の実情に応じた運行方法及びサービ ス水準を検討・設定します。 ・タクシー事業者の継続および発展に向 け、必要なサービス水準の維持を図り ます。	行政バス (青山行政バス、コミ ュニティバス「にんま る」、いがまち行政 サードバス巡回車、しま がはら行政サードバ ス巡回車、阿山行政サ ードバス巡回車、大山田 行政サードバス巡回車、比 自岐コササ号) 地域運行バス (かんべ北斗号)、美 旗コミュニティバス、 タクシー

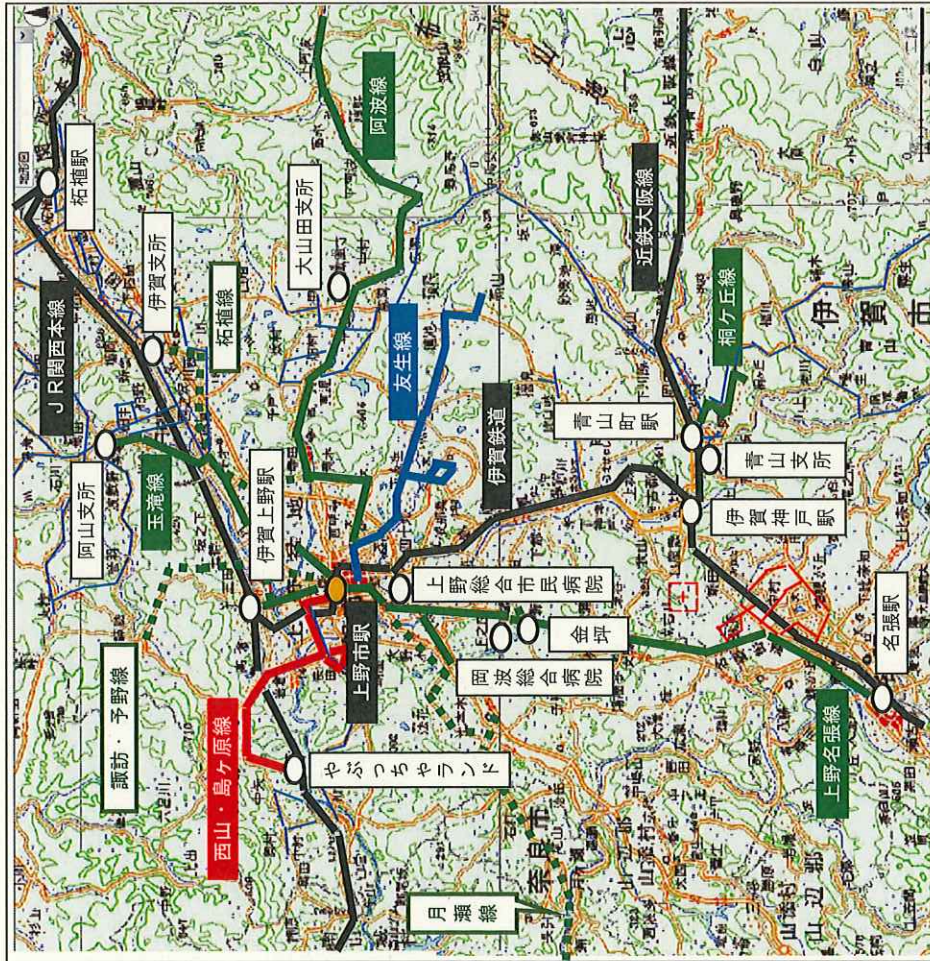
※1：フィーダー系統

▼表7：地域公共交通の機能分類と路線維持の基本的な考え方

機能分類	路線機能	サービス確保の基本的な考え方	該当する 現行路線
公共交通軸 (鉄道)	都市間交通需要に対応する 広域的な公共交通軸であり、 通勤・通学や買物、通院、観 光など様々な利用目的に対 応し伊賀市の都市構造の骨 格を形成する公共交通軸と して機能します。	・都市間を連絡する広域交通需要に応じ た、高いサービス水準を確保します。 ・伊賀市の都市構造を誘導・形成する公 共交通軸であり、鉄道相互及びバス 等、他の交通機関と一体的に機能しう るサービス水準を確保します。	近鉄大阪線 JR関西本線 JR草津線 伊賀鉄道 高速バス (名古屋上野高速 線、伊賀大阪高速 線、高速伊賀大宮 線)
公共交通軸 (高速バス)		・伊賀市の骨格を形成する放射路線であ り、鉄道と一体となった公共交通軸を 図るため一定のサービス水準を確保 します。 ・通勤・通学及び帰宅時間帯を中心に乗 客集中に対応できるサービス水準を 確保します。 ・鉄道と一体となり都市間連絡需要に対 応するため、鉄道との乗り継ぎ利便性 の確保に留意したダイヤ設定としま す。	営業路線バス (上野名張線、 <u>上野</u> <u>山添線</u>) 廃止代替バス (月瀬線)
公共交通軸 (基幹バス)	中心市街地と隣接都市等を 連絡する都市間需要に対応 する路線として、鉄道ととも に伊賀市の公共交通軸とし て機能します。 伊賀市の都市構造の骨格を 形成する公共交通軸として 機能します。		
準基幹バス	基幹バスを補完し、市内各地 域の移動を支える路線とし て機能します。 中心市街地と地域の生活拠 点(支所、医療施設、商業施 設等)や公共交通軸(鉄道、 基幹バス)へアクセスしま す。	・基幹バスを補完する伊賀市の放射路線 であり、中心市街地と地域の生活拠点 (支所、医療施設、商業施設等)、鉄道 駅、基幹バスへのアクセス利便性の確 保に留意したルート及びダイヤ設定 とします。 ・公共交通軸との乗り継ぎ利便性の確保 に留意したダイヤ設定とします。	営業路線バス (阿波線、玉滝線、 桐が丘線) 廃止代替バス (諏訪・茅野線、西 山・島ヶ原線 ^{※1} 、拓植 線、友生線 ^{※1})
地域生活 交通	地域の生活拠点(支所、最寄 鉄道駅、医療施設、商業施設 等)や基幹バス及び準基幹バ スへアクセスし、生活のあら ゆる需要に対応します。	・各地域の実情に応じ、必要なサービ ス水準の維持を図ります。 ・公共交通軸(鉄道、基幹バス)や準基 幹バスの発着時刻との乗り継ぎ利便 性の確保に留意したダイヤ設定とし ます。 ・路線の維持に向け、地域が主体的に取 り組むことで、デマンド運行など地域 の実情に応じた運行方法及びサービ ス水準を検討・設定します。 ・タクシー事業者の継続および発展に向 け、必要なサービス水準の維持を図り ます。	行政バス (青山行政バス、コミ ュニティバス「にんま る」、いがまち行政 サードバス巡回車、しま がはら行政サードバ ス巡回車、阿山行政サ ードバス巡回車、大山田 行政サードバス巡回車、比 自岐コササ号) 地域運行バス (かんべ北斗号)、美 旗コミュニティバス、 タクシー

※1：フィーダー系統

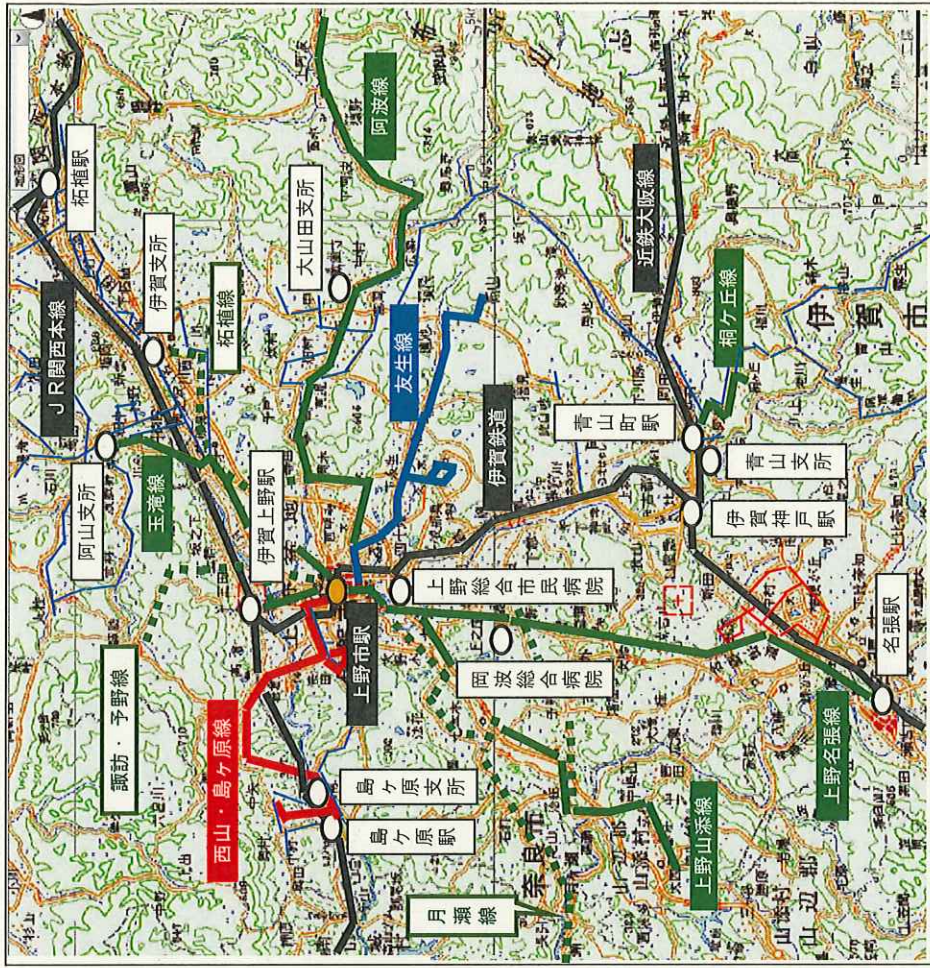
(2) 生活交通確保維持改善計画に基づいたバス路線について



- フィーダー系統 (西山・島ヶ原線)
- フィーダー系統 (友生線)
- 幹線系統
- 廃止代替バス
- 行政バス
- 地域運行バス (かんべ北斗号)
- はたっこ号

フィーダー系統である西山・島ヶ原線及び友生線は、商業施設や医療機関、学校が所在する上野市駅周辺の市街地への移動手段として運行されるとともに、幹線系統のバス路線(上野名張線、阿波線、玉滝線)に接続し、名張、大山田、阿山の各方面へ乗り継ぐことができ、通勤・通学・通院・買い物等用務の移動手段としての機能を担っています。

(2) 生活交通確保維持改善計画に基づいたバス路線について



- フィーダー系統 (西山・島ヶ原線)
- フィーダー系統 (友生線)
- 幹線系統
- 廃止代替バス
- 行政バス
- 地域運行バス (かんべ北斗号)
- はたっこ号

フィーダー系統である西山・島ヶ原線及び友生線は、商業施設や医療機関、学校が所在する上野市駅周辺の市街地への移動手段として運行されるとともに、幹線系統のバス路線(上野名張線、阿波線、玉滝線)に接続し、名張、大山田、阿山の各方面へ乗り継ぐことができ、通勤・通学・通院・買い物等用務の移動手段としての機能を担っています。

■市内バス路線一覧

系統名	起点	経由地	終点	許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
【営業路線バス】							
上野 名張線	伊賀上野 駅前	上野市駅	名張駅 西口	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
阿波線	上野市駅	大山田 支所前	汁付	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
玉滝線	上野市駅	佐那具	阿山 支所前	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
桐ヶ丘線	羽根東 駅前	青山町 駅前	桐ヶ丘	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
【廃止代替バス】							
友生線	上野市駅	上野南 公園前	高山	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	ファイダー 系統補助
諏訪・ 予野線	諏訪下出	伊賀上野 駅	金坪	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	
西山・ 島ヶ原線	上野市駅	西山	やぶつち やランド	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	ファイダー 系統補助
柘植線	上野市駅	服部口、 寺田	新堂駅 南口	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	
月瀬線	上野市駅	永谷辻、 奥法花	桃香野口	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	
【いがまち行政サービス巡回車】							
柘植・ 西柘植線	消防署 東分署前	柘植駅前 ・新堂駅 南口	保健福祉 センター	79 条交 通空白地 有償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
西柘植・ 壬生野線	消防署 東分署前	新堂駅 南口	消防署 東分署前	79 条交 通空白地 有償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
希望ヶ丘 線	新堂駅 南口	滝川橋 東詰・ 虹ヶ丘	希望ヶ丘 口	79 条交 通空白地 有償運送	路線 定期 運行	伊賀市	

■市内バス路線一覧

系統名	起点	経由地	終点	許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
【営業路線バス】							
上野 名張線	伊賀上野 駅前	上野市駅	名張駅 西口	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
阿波線	上野市駅	大山田 支所前	汁付	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
玉滝線	上野市駅	佐那具	阿山 支所前	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
上野 山添線	上野市駅	治田西口	国道 山添	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	幹線 補助
桐ヶ丘線	羽根東 駅前	青山町 駅前	桐ヶ丘	4 条 乗合	路線定期 運行	三重 交通	
【廃止代替バス】							
友生線	上野市駅	上野南 公園前	高山	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	ファイダー 系統補助
諏訪・ 予野線	諏訪下出	伊賀上野 駅	治田 西口	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	
西山・ 島ヶ原線	上野市駅	西山 やぶつち やランド	中矢	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	ファイダー 系統補助
柘植線	上野市駅	服部口、 寺田	新堂駅 南口	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	
月瀬線	上野市駅	永谷辻、 奥法花	桃香野口	4 条 乗合	路線定期 運行	伊賀市	
【いがまち行政サービス巡回車】							
柘植・ 西柘植線	消防署 東分署前	柘植駅前 ・新堂駅 南口	保健福祉 センター	79 条交 通空白地 有償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
西柘植・ 壬生野線	消防署 東分署前	新堂駅 南口	消防署 東分署前	79 条交 通空白地 有償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
希望ヶ丘 線	新堂駅 南口	滝川橋 東詰・ 虹ヶ丘	希望ヶ丘 口	79 条交 通空白地 有償運送	路線 定期 運行	伊賀市	

系統名	起点	経由地	終点	許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
【島ヶ原行政サービス巡回車】							
山菅・ 不見上線	島ヶ原 支所前	島ヶ原駅 島ヶ原駅 ・学校	島ヶ原 支所前	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
デマンド 型巡回車	島ヶ原内	島ヶ原駅	上野市駅	79 条交通 空白地有 償運送	区域 運行	伊賀市	
【阿山行政サービス巡回車】							
玉滝 鞆田線	阿山支所	模山 新田上	阿山支所	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
丸柱 河合線	阿山支所	諏訪 神社前	阿山支所	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
【大山田行政サービス巡回車】							
坂下線	大山田 支所前	広瀬	滝	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
大沢線	大山田 支所前	千戸 バス停	大山田 支所前	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
虹ヶ丘線	大山田 支所前	希望ヶ丘 口	大山田 支所前	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
【比自岐コスモス号】							
比自岐線	農協前	市民セン ター前	丸山駅	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	

系統名	起点	経由地	終点	許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
【島ヶ原行政サービス巡回車】							
山菅・ 不見上線	島ヶ原 支所前	島ヶ原駅 ・学校	島ヶ原 支所前	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
デマンド 型巡回車	島ヶ原内	島ヶ原駅	小田町内	79 条交通 空白地有 償運送	区域 運行	伊賀市	
【阿山行政サービス巡回車】							
玉滝 鞆田線	阿山支所	模山 新田上	阿山支所	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
丸柱 河合線	阿山支所	諏訪 神社前	阿山支所	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
【大山田行政サービス巡回車】							
坂下線	大山田 支所前	広瀬	滝	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
大沢線	大山田 支所前	千戸 バス停	大山田 支所前	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
虹ヶ丘線	大山田 支所前	希望ヶ丘 口	大山田 支所前	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	
【比自岐コスモス号】							
比自岐線	農協前	市民セン ター前	丸山駅	79 条交通 空白地有 償運送	路線 定期 運行	伊賀市	

■ 地域公共交通確保維持事業の必要性

上野名張線
伊賀上野駅から名張駅までを結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
阿波線
上野市駅から茅町駅を経由して旧大山田村を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
玉滝線
上野市駅から佐那具駅を経由して旧阿山町を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
桐ヶ丘線
青山町駅と桐ヶ丘地区を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や、沿線に立地する病院への通院、大型商業施設への買い物等の利用に不可欠な路線です。
友生線
郊外の友生、ゆめが丘地区と中心市街地エリアを結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設への買い物等の利用に不可欠な路線です。また、上野市駅で地域間幹線である上野名張線、玉滝線、阿波線のほか、柘植線と接続することにより、他市域や他支所管内への移動も可能となっています。このような重要な役割を担っている一方で、本市や運行事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。
諏訪・予野線
上野市駅から伊賀上野駅を経由して諏訪地区を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
西山・島ヶ原線
郊外の島ヶ原、新居、長田地区と中心市街地エリアを結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設への買い物等の利用に不可欠な路線です。また、上野市駅で地域間幹線である上野名張線、玉滝線、阿波線のほか、柘植線と接続することにより、他市域や他支所管内への移動も可能となっています。このような重要な役割を担っている一方で、本市や運行事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。
柘植線
上野市駅と旧伊賀町を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、中心市街地への買い物等の利用や沿線に立地する高等学校の生徒の通学利用に不可欠な路線です。

■ 地域公共交通確保維持事業の必要性

上野名張線
伊賀上野駅から名張駅までを結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
阿波線
上野市駅から茅町駅を経由して旧大山田村を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
玉滝線
上野市駅から佐那具駅を経由して旧阿山町を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
上野山添線
上野市駅と奈良県山添村を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や、沿線に立地する高等学校の生徒の通学利用に不可欠な路線です。
桐ヶ丘線
青山町駅と桐ヶ丘地区を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や、沿線に立地する病院への通院、大型商業施設への買い物等の利用に不可欠な路線です。
友生線
郊外の友生、ゆめが丘地区と中心市街地エリアを結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設への買い物等の利用に不可欠な路線です。また、上野市駅で地域間幹線である上野名張線、玉滝線、阿波線のほか、柘植線と接続することにより、他市域や他支所管内への移動も可能となっています。このような重要な役割を担っている一方で、本市や運行事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。
諏訪・予野線
上野市駅から伊賀上野駅を経由して諏訪地区を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設、中心市街地への買い物等の利用に不可欠な路線です。
西山・島ヶ原線
郊外の島ヶ原、新居、長田地区と中心市街地エリアを結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、大型商業施設への買い物等の利用に不可欠な路線です。また、上野市駅で地域間幹線である上野名張線、玉滝線、阿波線のほか、柘植線と接続することにより、他市域や他支所管内への移動も可能となっています。このような重要な役割を担っている一方で、本市や運行事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。
柘植線
上野市駅と旧伊賀町を結ぶ路線であり、沿線居住者の通勤、通学や沿線に立地する病院への通院、中心市街地への買い物等の利用や沿線に立地する高等学校の生徒の通学利用に不可欠な路線です。